

新しい子宮頸がん検査のお勧め

HPV (ヒトパピローマウイルス) DNA 検査

を追加することをお勧めします

細胞診

+

※NEW

HPV DNA 検査

細胞診、HPV DNA 検査は子宮の入り口(頸部)の細胞を採取して、同時に検査できます。

細胞診 : 従来より子宮がん検診で使われている検査法
採取した細胞に異常がないかどうか顕微鏡で調べる検査です。

HPV DNA 検査 : 子宮頸がんの原因となるウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。

高リスク型HPVと低リスク型HPVの違い

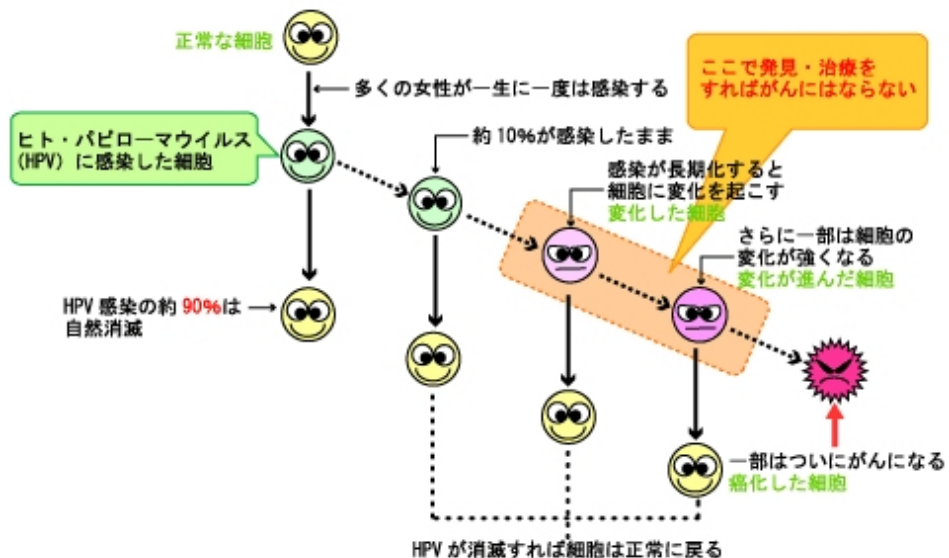
HPVはとてもありふれたウイルスです。性交渉の経験のある女性の80%程度は一生のうち一度はHPVに感染するといわれています。

HPVは100種類以上のHPV遺伝子型(タイプ)があり、子宮頸がんに関連しているのは高リスク型です。

しかし、高リスク型に感染していても全員が発ガンするのではなく免疫状態の低下や喫煙などの要因が引き金となってもたらされることが判っています。自分が高リスクHPVに感染しているかを調べ、今後の検診間隔の目安を設定することができます。

また高リスク型HPVが見つかり、細胞に異形成がある場合でも、全てが発ガン化することはありません。

正常な細胞が子宮頸がんになるまで



「子宮頸がんを考える市民の会」HPより引用(許諾済)
<http://orangecllover.org/>

住友生命総合健診システム